

第3章 第7次計画の取組状況

- 1 介護保険サービスの実施状況
- 2 重点課題の推進状況
- 3 サービス利用者の意識（アンケート調査）

この章では、各市町村における介護保険サービスの実施状況や重点課題の推進状況等、第7次京都府高齢者健康福祉計画（計画期間：平成27～29年度）の取組状況について説明します。

第3章 第7次計画の取組状況

1 介護保険サービスの実施状況

- 介護保険制度がスタートした平成12年4月から18年目を迎え、この間、高齢化の急速な進行や介護保険制度の普及に伴い、被保険者数・要介護認定者数は年々増加し続けている状況です。
- このような中で、平成27年度から平成29年度までの第7次計画期間における府内各圏域の介護保険サービス提供については、サービス毎に増減はあるものの、受給者に対して、おおむね計画どおりのサービス提供が行われています。
- また、介護老人福祉施設や介護老人保健施設、地域密着型の施設サービスなどについては、京都府の補助制度等の活用により、計画に基づいて整備が進められています。
- 利用状況の詳細については、以下のとおりです。

【居宅サービスの実績】

- 居宅サービスは、各サービスにおいて若干の増減はあるものの、圏域内においておおむね計画通りのサービス提供が行われています。サービス別の実績では、訪問看護（介護予防含む）、居宅療養管理指導及び通所介護の利用率（計画値に対する実績値の割合）が高くなっています。

区 分	H27年度			H28年度		
	実績 A	計画 B	利用率 A/B	実績 C	計画 D	利用率 C/D
①訪問介護	100,615	97,484	103.2%	102,546	100,669	101.9%
丹 後	3,197	3,026	105.6%	2,920	3,166	92.2%
中 丹	7,955	9,190	86.6%	7,607	9,525	79.9%
南 丹	4,235	4,507	94.0%	4,482	5,016	89.4%
京 都 ・ 乙 訓	69,092	62,918	109.8%	71,419	64,102	111.4%
山 城 北	13,404	15,039	89.1%	13,333	15,936	83.7%
(回/週) 山 城 南	2,731	2,804	97.4%	2,786	2,924	95.3%

第3章

区 分	H27年度			H28年度		
	実績 A	計画 B	利用率 A/B	実績 C	計画 D	利用率 C/D
②訪問入浴介護	1,985	1,989	99.8%	1,883	2,039	92.3%
(回/週)						
丹 後	88	91	96.6%	78	95	82.5%
中 丹	268	297	90.3%	244	301	81.0%
南 丹	72	71	100.9%	69	80	85.7%
京 都 ・ 乙 訓	1,258	1,187	106.0%	1,209	1,198	100.9%
山 城 北	247	270	91.3%	239	288	82.9%
山 城 南	53	73	72.6%	44	77	57.4%
③訪問看護	14,833	14,371	103.2%	16,567	15,608	106.1%
(回/週)						
丹 後	620	634	97.7%	691	663	104.2%
中 丹	1,363	1,635	83.4%	1,308	1,814	72.1%
南 丹	354	449	78.8%	399	484	82.5%
京 都 ・ 乙 訓	9,863	8,559	115.2%	11,499	9,233	124.5%
山 城 北	1,921	2,320	82.8%	2,090	2,551	81.9%
山 城 南	712	774	92.0%	579	863	67.0%
④訪問リハビリテーション	8,278	9,044	91.5%	8,580	10,472	81.9%
(回/週)						
丹 後	76	68	111.9%	93	73	127.9%
中 丹	134	155	86.6%	182	168	108.4%
南 丹	301	554	54.4%	308	687	44.8%
京 都 ・ 乙 訓	6,728	7,070	95.2%	6,934	8,191	84.7%
山 城 北	850	994	85.5%	915	1,129	81.1%
山 城 南	188	203	92.6%	148	224	66.1%
⑤居宅療養管理指導	13,585	12,293	110.5%	15,151	13,579	111.6%
(人/月)						
丹 後	246	185	132.7%	239	189	126.6%
中 丹	551	575	95.8%	523	633	82.5%
南 丹	403	387	104.0%	446	455	98.0%
京 都 ・ 乙 訓	9,662	9,042	106.9%	10,926	10,074	108.5%
山 城 北	2,215	1,666	132.9%	2,452	1,762	139.2%
山 城 南	510	438	116.3%	565	466	121.3%
⑥通所介護	57,569	58,145	99.0%	52,728	47,719	110.5%
(回/週)						
丹 後	3,195	3,487	91.6%	3,123	3,476	89.8%
中 丹	5,108	5,406	94.5%	4,656	4,926	94.5%
南 丹	2,976	3,269	91.0%	2,361	2,826	83.6%
京 都 ・ 乙 訓	36,927	35,586	103.8%	33,988	25,647	132.5%
山 城 北	6,952	7,566	91.9%	6,194	7,683	80.6%
山 城 南	2,411	2,831	85.2%	2,407	3,161	76.1%
⑦通所リハビリテーション	16,029	16,909	94.8%	16,068	17,838	90.1%
(回/週)						
丹 後	408	409	99.7%	393	413	95.1%
中 丹	1,368	1,494	91.6%	1,409	1,598	88.2%
南 丹	1,018	1,173	86.8%	967	1,300	74.3%
京 都 ・ 乙 訓	10,208	10,729	95.1%	10,133	11,237	90.2%
山 城 北	2,615	2,647	98.8%	2,720	2,796	97.3%
山 城 南	412	457	90.1%	447	494	90.4%

区 分	H27年度			H28年度			
	実績	計画	利用率	実績	計画	利用率	
	A	B	A/B	C	D	C/D	
⑧短期入所生活介護	65,183	68,775	94.8%	64,401	73,357	87.8%	
(日/月)	丹 後	6,901	6,982	98.8%	6,701	7,178	93.4%
	中 丹	7,001	8,773	79.8%	6,608	8,992	73.5%
	南 丹	5,943	6,923	85.8%	5,790	7,242	80.0%
	京 都 ・ 乙 訓	33,524	32,592	102.9%	33,951	35,507	95.6%
	山 城 北	8,594	9,839	87.3%	8,267	10,532	78.5%
	山 城 南	3,221	3,666	87.9%	3,084	3,906	79.0%
⑨短期入所療養介護	9,762	10,476	93.2%	10,001	10,834	92.3%	
(日/月)	丹 後	350	501	69.9%	391	570	68.5%
	中 丹	974	980	99.4%	1,041	941	110.6%
	南 丹	678	905	74.9%	514	951	54.1%
	京 都 ・ 乙 訓	6,706	6,698	100.1%	6,995	6,744	103.7%
	山 城 北	923	1,154	80.0%	919	1,383	66.5%
	山 城 南	131	238	54.9%	141	245	57.3%
⑩特定施設入居者生活介護	2,427	2,958	82.1%	2,590	3,058	84.7%	
(人)	丹 後	82	91	89.7%	86	94	91.6%
	中 丹	137	115	118.8%	121	114	106.2%
	南 丹	19	31	61.9%	22	41	54.0%
	京 都 ・ 乙 訓	1,630	2,099	77.7%	1,775	2,120	83.7%
	山 城 北	465	498	93.3%	483	551	87.7%
	山 城 南	95	124	76.4%	102	138	74.1%
⑪福祉用具貸与	467,963	448,164	104.4%	490,423	480,936	102.0%	
(人/年)	丹 後	20,640	19,296	107.0%	21,346	19,740	108.1%
	中 丹	43,585	42,504	102.5%	44,092	44,592	98.9%
	南 丹	20,908	20,004	104.5%	21,559	21,888	98.5%
	京 都 ・ 乙 訓	305,827	290,268	105.4%	324,448	314,328	103.2%
	山 城 北	61,986	61,524	100.8%	63,711	63,972	99.6%
	山 城 南	15,017	14,568	103.1%	15,267	16,416	93.0%
⑫特定福祉用具販売	9,066	12,696	71.4%	8,895	13,620	65.3%	
(人/年)	丹 後	429	780	55.0%	453	792	57.2%
	中 丹	852	948	89.9%	814	936	87.0%
	南 丹	439	660	66.5%	403	756	53.3%
	京 都 ・ 乙 訓	5,777	6,588	87.7%	5,714	6,792	84.1%
	山 城 北	1,276	1,512	84.4%	1,225	1,596	76.8%
	山 城 南	293	2,208	13.3%	286	2,748	10.4%
⑬住宅改修	7,422	11,256	65.9%	7,473	12,024	62.2%	
(人/年)	丹 後	314	828	37.9%	335	936	35.8%
	中 丹	565	636	88.8%	525	648	81.0%
	南 丹	335	564	59.4%	338	624	54.2%
	京 都 ・ 乙 訓	4,709	5,796	81.2%	4,821	6,012	80.2%
	山 城 北	1,218	1,608	75.7%	1,192	1,800	66.2%
	山 城 南	281	1,824	15.4%	262	2,004	13.1%

第3章

区 分	H27年度			H28年度		
	実績	計画	利用率	実績	計画	利用率
	A	B	A/B	C	D	C/D
⑭ 居宅介護支援	58,581	57,132	102.5%	60,220	60,489	99.6%
丹 後	2,771	2,720	101.9%	2,820	2,766	102.0%
中 丹	5,418	5,489	98.7%	5,406	5,669	95.4%
南 丹	2,805	2,800	100.2%	2,804	2,976	94.2%
京 都 ・ 乙 訓	37,255	36,445	102.2%	38,721	38,830	99.7%
山 城 北	8,440	7,791	108.3%	8,560	8,127	105.3%
山 城 南	1,893	1,887	100.3%	1,909	2,121	90.0%
(人/月)						

【予防サービス】

区 分	H27年度			H28年度		
	実績	計画	利用率	実績	計画	利用率
	A	B	A/B	C	D	C/D
① 介護予防訪問介護	10,553	10,684	98.8%	10,061	10,817	93.0%
丹 後	291	255	114.2%	243	179	135.9%
中 丹	655	676	96.9%	574	651	88.2%
南 丹	403	450	89.6%	386	492	78.4%
京 都 ・ 乙 訓	7,411	7,306	101.4%	7,110	7,321	97.1%
山 城 北	1,594	1,799	88.6%	1,526	1,960	77.9%
山 城 南	198	198	99.9%	221	214	103.4%
(人/月)						
② 介護予防訪問入浴介護	7.5	32.3	23.1%	10.4	51.0	20.3%
丹 後	0.0	0.0	—	0.4	0.0	—
中 丹	4.7	14.8	31.5%	5.9	22.3	26.4%
南 丹	0.5	15.1	3.3%	0.9	26.4	3.4%
京 都 ・ 乙 訓	0.9	1.1	85.1%	1.6	0.9	183.3%
山 城 北	0.1	0.2	50.0%	0.1	0.2	49.9%
山 城 南	1.3	1.2	111.7%	1.4	1.2	122.2%
(回/週)						
③ 介護予防訪問看護	1,104	1,018	108.4%	1,305	1,165	112.0%
丹 後	121	119	101.7%	119	142	83.7%
中 丹	123	121	101.6%	134	133	100.4%
南 丹	46	60	77.0%	51	69	73.6%
京 都 ・ 乙 訓	604	442	136.7%	734	501	146.5%
山 城 北	130	191	68.1%	179	233	76.6%
山 城 南	80	85	93.6%	89	87	102.4%
(回/週)						
④ 介護予防訪問 リハビリテーション	575.6	686.0	83.9%	693.3	808.9	85.7%
丹 後	5.5	9.9	55.1%	16.0	10.7	150.1%
中 丹	18.0	15.9	113.2%	22.9	22.6	101.1%
南 丹	42.7	132.4	32.2%	55.6	182.2	30.5%
京 都 ・ 乙 訓	430.4	440.1	97.8%	504.8	489.2	103.2%
山 城 北	52.8	65.0	81.2%	70.4	78.6	89.6%
山 城 南	26.3	22.7	116.0%	23.6	25.6	92.1%
(回/週)						

区 分	H27年度			H28年度		
	実績	計画	利用率	実績	計画	利用率
	A	B	A/B	C	D	C/D
⑤介護予防居宅療養管理 指導	693	661	104.8%	760	728	104.4%
丹 後	25	23	109.1%	23	24	94.8%
中 丹	41	60	67.9%	42	72	58.8%
南 丹	33	41	79.9%	32	46	68.8%
京 都 ・ 乙 訓	424	393	107.8%	443	418	105.9%
山 城 北	143	114	125.1%	186	135	137.5%
山 城 南	28	30	93.1%	35	33	106.8%
(人/月)						
⑥介護予防通所介護	9,227	9,464	97.5%	10,834	10,515	103.0%
丹 後	649	532	122.0%	917	341	269.0%
中 丹	804	833	96.5%	828	830	99.7%
南 丹	519	590	88.0%	748	598	125.1%
京 都 ・ 乙 訓	5,757	5,890	97.7%	6,279	6,930	90.6%
山 城 北	1,167	1,307	89.3%	1,511	1,476	102.4%
山 城 南	331	312	106.0%	551	340	162.0%
(人/月)						
⑦介護予防通所 リハビリテーション	2,069	2,183	94.8%	2,214	2,435	90.9%
丹 後	81	96	83.9%	80	110	73.1%
中 丹	232	258	89.8%	238	297	80.3%
南 丹	224	300	74.6%	225	371	60.6%
京 都 ・ 乙 訓	1,064	1,114	95.5%	1,099	1,180	93.1%
山 城 北	342	300	114.1%	437	346	126.2%
山 城 南	127	115	110.1%	135	131	103.0%
(人/月)						
⑧介護予防短期入所生活 介護	724	969	74.7%	681	1,140	59.7%
丹 後	112	92	121.3%	114	103	110.7%
中 丹	78	93	84.0%	53	110	48.0%
南 丹	85	221	38.6%	97	274	35.2%
京 都 ・ 乙 訓	265	310	85.5%	213	343	62.2%
山 城 北	158	218	72.4%	163	272	59.8%
山 城 南	26	35	74.8%	42	38	109.4%
(日/月)						
⑨介護予防短期入所療養 介護	64.9	39.1	166.0%	63.3	46.8	135.1%
丹 後	3.8	0.2	1916.7%	2.4	0.2	1208.3%
中 丹	13.1	12.8	102.2%	8.3	14.6	56.5%
南 丹	5.7	0.0	—	8.8	0.0	—
京 都 ・ 乙 訓	26.1	17.6	148.2%	25.8	23.7	109.0%
山 城 北	13.6	8.5	159.8%	16.3	8.3	195.8%
山 城 南	2.7	0.0	—	0.2	0.0	—
(日/月)						
⑩介護予防特定施設入居 者生活介護	226.4	289.0	78.3%	226.4	303.0	74.7%
丹 後	9.1	7.0	130.7%	7.7	8.0	95.9%
中 丹	15.5	30.0	51.6%	16.7	32.0	52.2%
南 丹	2.1	4.0	52.6%	1.2	5.0	23.1%
京 都 ・ 乙 訓	118.4	168.0	70.4%	113.7	175.0	64.9%
山 城 北	72.4	65.0	111.3%	76.8	63.0	121.8%
山 城 南	8.9	15.0	59.4%	10.4	20.0	52.2%
(人)						

第3章

区 分	H27年度			H28年度			
	実績	計画	利用率	実績	計画	利用率	
	A	B	A/B	C	D	C/D	
⑪介護予防福祉用具貸与	108,942	103,704	105.1%	121,076	115,236	105.1%	
(人/年)	丹 後	5,412	4,608	117.4%	5,928	4,920	120.5%
	中 丹	11,582	12,240	94.6%	12,629	14,268	88.5%
	南 丹	6,079	6,840	88.9%	7,021	7,872	89.2%
	京 都 ・ 乙 訓	66,810	62,448	107.0%	73,267	68,352	107.2%
	山 城 北	15,179	14,640	103.7%	17,688	16,620	106.4%
	山 城 南	3,880	2,928	132.5%	4,543	3,204	141.8%
⑫介護予防特定福祉用具販売	3,857	4,956	77.8%	3,680	5,220	70.5%	
(人/年)	丹 後	198	480	41.3%	197	552	35.7%
	中 丹	356	420	84.8%	345	420	82.1%
	南 丹	240	300	80.0%	196	324	60.5%
	京 都 ・ 乙 訓	2,382	2,484	95.9%	2,256	2,520	89.5%
	山 城 北	539	540	99.8%	560	564	99.3%
	山 城 南	142	732	19.4%	126	840	15.0%
⑬介護予防住宅改修	5,007	6,444	77.7%	4,935	6,924	71.3%	
(人/年)	丹 後	243	384	63.3%	240	408	58.8%
	中 丹	417	444	93.9%	372	444	83.8%
	南 丹	301	396	76.0%	260	456	57.0%
	京 都 ・ 乙 訓	3,025	3,324	91.0%	2,967	3,408	87.1%
	山 城 北	825	1,188	69.4%	890	1,452	61.3%
	山 城 南	196	708	27.7%	206	756	27.2%
⑭介護予防支援	23,042	23,368	98.6%	23,761	25,137	94.5%	
(人/月)	丹 後	1,181	1,258	93.9%	1,115	1,403	79.4%
	中 丹	1,971	2,027	97.2%	1,970	2,140	92.1%
	南 丹	1,199	1,362	88.0%	1,253	1,514	82.7%
	京 都 ・ 乙 訓	14,630	14,620	100.1%	15,078	15,650	96.3%
	山 城 北	3,294	3,334	98.8%	3,506	3,597	97.5%
	山 城 南	767	767	100.0%	840	833	100.8%

注：「実績」、「計画」は小数点以下を四捨五入して表示している場合がありますが、「利用率」は小数点以下も含めて算出しているため、見た目の計算結果と異なる場合があります

【地域密着型サービスの実績】

- 地域密着型サービスについては、夜間対応型訪問介護について計画どおりのサービス提供が行われるなど、サービス提供体制の拡充が徐々に進んでいますが、実績値が計画値を下回っている、あるいは地域偏在の大きいサービス類型もあり、地域の実情に応じて、サービス提供体制の充実を図っていくことが重要です。
- 平成27年度の制度改正により創設され、平成28年度よりスタートした「地域密着型通所介護」については、平成30年3月末現在、213事業所で実施されています。

区 分	H27年度			H28年度			
	実績 A	計画 B	利用率 A/B	実績 C	計画 D	利用率 C/D	
①夜間対応型訪問介護	968	928	104.3%	1,047	1,044	100.3%	
(人/月)	丹 後	27	19	143.0%	30	22	137.9%
	中 丹	0	0	—	0	0	—
	南 丹	0	10	—	0	10	—
	京 都・乙 訓	941	899	104.6%	1,017	1,012	100.5%
	山 城 北	0	0	—	0	0	—
	山 城 南	0	0	—	0	0	—
②認知症対応型通所介護	3,838	4,100	93.6%	3,802	4,403	86.3%	
(回/週)	丹 後	344	342	100.6%	347	370	93.7%
	中 丹	790	869	91.0%	793	909	87.3%
	南 丹	201	202	99.4%	191	227	84.2%
	京 都・乙 訓	1,670	1,634	102.2%	1,612	1,701	94.8%
	山 城 北	756	946	79.9%	778	1,079	72.1%
	山 城 南	77	107	72.0%	80	117	68.6%
③小規模多機能型居宅介護	2,253	2,797	80.5%	2,522	3,111	81.1%	
(人/月)	丹 後	303	386	78.5%	313	396	78.9%
	中 丹	217	256	84.6%	218	276	79.1%
	南 丹	136	159	85.5%	152	169	90.0%
	京 都・乙 訓	1,146	1,438	79.7%	1,346	1,674	80.4%
	山 城 北	374	489	76.6%	419	523	80.1%
	山 城 南	77	69	111.4%	75	73	102.3%
④認知症対応型共同生活介護	2,763	3,401	81.2%	2,950	3,562	82.8%	
(人)	丹 後	149	164	90.6%	148	182	81.1%
	中 丹	221	238	92.9%	226	238	95.0%
	南 丹	152	197	76.9%	162	197	82.0%
	京 都・乙 訓	1,767	2,287	77.3%	1,927	2,401	80.3%
	山 城 北	386	416	92.9%	396	443	89.4%
	山 城 南	89	99	89.7%	91	101	90.6%

第3章

区 分	H27年度			H28年度		
	実績	計画	利用率	実績	計画	利用率
	A	B	A/B	C	D	C/D
⑤地域密着型特定施設入居者生活介護	270.6	409.0	66.2%	282.0	458.0	61.6%
(人)						
丹 後	1.0	1.0	100.3%	1.0	1.0	98.6%
中 丹	72.5	76.0	95.4%	71.4	76.0	94.0%
南 丹	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—
京 都 ・ 乙 訓	197.1	332.0	59.4%	209.6	374.0	56.0%
山 城 北	0.0	0.0	—	0.0	7.0	0.0%
山 城 南	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—
⑥地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	930	1,044	89.1%	977	1,204	81.1%
(人)						
丹 後	29	29	100.0%	38	44	86.4%
中 丹	180	182	98.9%	171	182	94.0%
南 丹	49	50	98.0%	49	50	98.0%
京 都 ・ 乙 訓	589	707	83.3%	628	801	78.4%
山 城 北	83	76	109.2%	91	127	71.7%
山 城 南	0	0	—	0	0	—
⑦定期巡回・随時対応型訪問介護看護	572.8	903.0	63.4%	630.7	1,270.0	49.7%
(人/月)						
丹 後	2.5	15.0	16.7%	4.1	15.0	27.2%
中 丹	43.0	60.0	71.7%	37.5	65.0	57.7%
南 丹	1.8	10.0	18.3%	2.3	10.0	23.3%
京 都 ・ 乙 訓	518.7	780.0	66.5%	566.5	1,108.0	51.1%
山 城 北	2.4	38.0	6.4%	12.3	72.0	17.1%
山 城 南	4.4	0.0	—	7.9	0.0	—
⑧看護小規模多機能型居宅介護	118	164	71.8%	167	203	82.4%
(人/月)						
丹 後	0	0	—	0	0	—
中 丹	16	23	68.1%	42	25	166.3%
南 丹	0	25	—	0	25	—
京 都 ・ 乙 訓	79	94	83.9%	102	131	77.9%
山 城 北	23	22	105.7%	24	22	107.2%
山 城 南	0	0	—	0	0	—
⑨地域密着型通所介護	0	0	—	8,608	15,686	54.9%
(回/週)						
丹 後	0	0	—	276	113	244.5%
中 丹	0	0	—	706	1,061	66.6%
南 丹	0	0	—	687	944	72.8%
京 都 ・ 乙 訓	0	0	—	5,491	13,540	40.6%
山 城 北	0	0	—	1,125	28	4017.7%
山 城 南	0	0	—	323	0	—

〔予防サービス〕

区 分	H27年度			H28年度		
	実績	計画	利用率	実績	計画	利用率
	A	B	A/B	C	D	C/D
①介護予防認知症対応型 通所介護	2.9	22.5	12.9%	2.5	26.4	9.6%
丹 後	0.9	0.7	140.8%	0.3	0.7	39.1%
中 丹	0.3	12.8	2.1%	0.7	15.0	4.9%
南 丹	0.3	1.2	26.7%	0.2	1.2	20.0%
京 都 ・ 乙 訓	0.7	4.5	15.4%	0.3	6.2	4.7%
山 城 北	0.7	3.3	20.1%	0.9	3.4	27.2%
山 城 南	0.0	0.0	—	0.1	0.0	—
(回/週)						
②介護予防小規模多機能 型居宅介護	169.2	193.0	87.7%	197.8	224.0	88.3%
丹 後	43.0	56.0	76.8%	46.5	60.0	77.5%
中 丹	17.7	19.0	93.0%	20.4	20.0	102.1%
南 丹	26.3	21.0	125.0%	28.2	22.0	128.0%
京 都 ・ 乙 訓	8.4	68.0	12.4%	54.2	90.0	60.2%
山 城 北	21.8	24.0	90.6%	39.1	26.0	150.3%
山 城 南	52.1	5.0	1041.7%	9.5	6.0	158.3%
(人/月)						
③介護予防認知症対応 型共同生活介護	31	3	1033.3%	23	3	766.7%
丹 後	0	1	—	0	1	—
中 丹	0	0	—	0	0	—
南 丹	3	0	—	0	0	—
京 都 ・ 乙 訓	19	1	1900.0%	14	1	1400.0%
山 城 北	9	1	900.0%	9	1	900.0%
山 城 南	0	0	—	0	0	—
(人)						
④地域密着型介護予防通所介 護	0	0	—	0	0	—
丹 後	0	0	—	0	0	—
中 丹	0	0	—	0	0	—
南 丹	0	0	—	0	0	—
京 都 ・ 乙 訓	0	0	—	0	0	—
山 城 北	0	0	—	0	0	—
山 城 南	0	0	—	0	0	—
(人)						

注：「実績」、「計画」は小数点以下を四捨五入して表示していますが、「利用率」は小数点以下も含めて算出しているため、見た目の計算結果と異なる場合があります

【施設サービスの実績】

□ 施設サービスは、府内全体で見ると、概ね計画どおりの実績となっています。

区 分	H27年度			H28年度		
	実績 A	計画 B	利用率 A/B	実績 C	計画 D	利用率 C/D
①介護老人福祉施設	10,960	11,247	97.4%	11,240	11,568	97.2%
(人)						
丹 後	1,112	1,150	96.7%	1,148	1,206	95.2%
中 丹	1,343	1,352	99.3%	1,364	1,407	96.9%
南 丹	883	888	99.4%	863	888	97.2%
京 都 ・ 乙 訓	5,535	5,687	97.3%	5,767	5,842	98.7%
山 城 北	1,615	1,713	94.3%	1,616	1,766	91.5%
山 城 南	472	457	103.3%	482	459	105.0%
②介護老人保健施設	7,337	7,372	99.5%	7,480	7,575	98.7%
(人)						
丹 後	249	273	91.2%	249	276	90.2%
中 丹	757	837	90.4%	772	842	91.7%
南 丹	565	558	101.3%	573	558	102.7%
京 都 ・ 乙 訓	4,273	4,193	101.9%	4,358	4,353	100.1%
山 城 北	1,189	1,236	96.2%	1,249	1,269	98.4%
山 城 南	304	275	110.5%	279	277	100.7%
③介護療養型医療施設	2,839	3,105	91.4%	2,822	3,105	90.9%
(人)						
丹 後	12	22	54.5%	45	22	204.5%
中 丹	38	84	45.2%	36	86	41.9%
南 丹	130	118	110.2%	116	118	98.3%
京 都 ・ 乙 訓	2,320	2,501	92.8%	2,299	2,501	91.9%
山 城 北	286	325	88.0%	276	325	84.9%
山 城 南	53	55	96.4%	50	53	94.3%

【介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）等の整備状況】

□ 第7次計画の最終年度となる平成29年度末の定員見込（竣工ベース・京都市含む）は、介護老人福祉施設12,718床、介護老人保健施設7,497床、計20,215床となっており、計划定員に対する達成率は、97.9%となる見込みです。

	26年度末	27年度	28年度	29年度	29年度末		達成率
	定 員 A	整備済数 B	整備済数 C	竣工見込 D	定員見込 A-D計(E)	計划定員 F	
介護老人福祉施設	11,662	298	249	509	12,718	12,993	97.9%
介護老人保健施設	7,198	220	105	-26	7,497	7,652	98.0%
合計	18,860	518	354	483	20,215	20,645	97.9%

注1：介護老人福祉施設には、地域密着型を含みます

注2：介護老人保健施設の平成29年度竣工見込「-26」は、施設の廃止によるもの

2 重点課題の推進状況

この項目のポイント

- ▶ 認知症総合対策、総合リハビリテーションの推進、看取り対策を「地域包括ケア3大プロジェクト」に位置づけ、重点的な取組を推進
- ▶ 地域包括ケア総合交付金等により、医療・介護連携や介護予防・生活支援等の市町村の取組を推進
- ▶ 介護・福祉人材の確保や住まいの整備等の基盤整備を推進

(1) **重点課題1** 地域包括ケア3大プロジェクトの一層の充実

京都地域包括ケア推進機構による医療・介護・福祉のネットワークを活かし、「認知症総合対策」「総合リハビリテーションの推進」「看取り対策」の一層の充実を図る。

① 認知症総合対策の推進

- 認知症になっても安心して暮らせる社会の実現に向けて、すべての二次医療圏に設置している「認知症疾患医療センター」を核として、かかりつけ医や医療従事者、介護従事者が連携して支える仕組みの構築を進めました。
- 市町村が行う早期発見・早期対応のための支援体制づくりや、認知症カフェの設置、見守りネットワークの構築等の取組を推進しました。
- 地域の中核施設として、初期の段階から重度までワンストップで対応できる「京都認知症総合センター」の整備を進めています。

【主な取組】

- ▶ 「認知症疾患医療センター」の設置 8医療機関（基幹型1、地域型7）
- ▶ 「認知症サポート医」の養成 ㉗19人 ㉘27人（㉘累計 103人）
- ▶ 「認知症対応力向上研修」の実施
 - ・かかりつけ医 ㉗123人 ㉘287人（㉘累計 1,585人）
 - ・看護師・病院医療従事者 ㉗1,120人 ㉘1,039人
 - ・歯科医師 ㉘161人（㉘新規）
 - ・薬剤師 ㉘423人（㉘新規）
- ▶ 地域の中核施設となる「京都認知症総合センター」の整備に着手
- ▶ 「認知症初期集中支援チーム」の設置
 - ・設置市町村数（累計） ㉗5 ㉘9

第3章

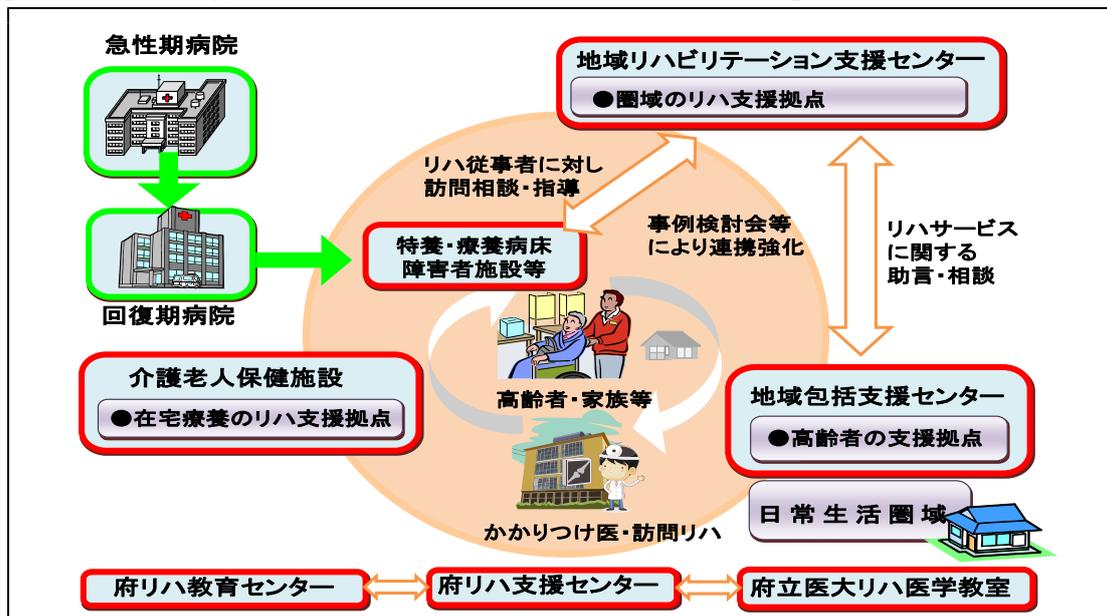
- ▶ 「初期認知症対応型カフェ」の設置
 - ・設置市町村数（累計） ㉗ 21 ㉘ 26（全市町村）
 - ・設置数（累計） ㉗ 96 ㉘ 132
- ▶ 「認知症リンクワーカー」の養成
 - ・養成研修受講者数 ㉗ 36人 ㉘ 45人（㉘設置 1市町村）
- ▶ 「認知症アクションアライアンス」取組市町村数（累計） ㉗ 1 ㉘ 2
- ▶ 「SOSネットワーク」構築市町村数（累計） ㉗ 20 ㉘ 26（全市町村）
- ▶ 「事前登録制度」実施市町村数（累計） ㉗ 16 ㉘ 26（全市町村）

- ▶ 「京都高齢者あんしんサポート企業」の推進
 - ・養成事業所数 ㉗ 644 ㉘ 206（㉘累計2,178事業所）
 - ・養成サポーター数 ㉗ 4,330人 ㉘ 1,966人（㉘累計16,034人）
- ▶ 「きょうと認知症あんしんナビ」の充実
- ▶ 「京都府認知症コールセンター」の設置
 - ・相談件数 ㉗ 605件 ㉘ 622件
- ▶ 「若年性認知症コールセンター」の設置
 - ・相談件数 ㉗ 52件 ㉘ 60件
- ▶ 「支援者のための若年性認知症研修」受講者数 ㉗ 200人 ㉘ 141人
- ▶ 「若年性認知症にかかる交流会・相談会」等の実施回数 ㉗ 14回 ㉘ 22回

② 総合リハビリテーションの推進

- 住み慣れた地域で安心して暮らせる地域共生社会の実現に向け、リハビリテーション専門医等の確保・育成、施設・在宅におけるリハビリテーションの質の向上、医療・介護・福祉の連携強化等、急性期から回復期、維持・生活期まで継続した総合リハビリテーション提供体制の充実に向けた取組を進めました。（図表3-1）

【図表3-1 京都府における総合リハビリテーション推進体制】



【主な取組】

(地域リハビリテーションの推進)

- ▶ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成校の在学者への修学資金の貸与のほか、リハビリテーション就業フェアの開催
 - ・修学資金貸与者数 : ㉓40人 ㉔39人
- ▶ 訪問リハビリテーション事業所の新規開設に対する支援
 - : ㉓7事業所 ㉔6事業所
- ▶ 地域リハビリテーション支援センターのコーディネーターによる地域包括支援センター等に対する助言・相談、連携会議等でのコーディネート回数（6圏域＋京都市）
 - : ㉓333回 ㉔303回
- ▶ 障害児・者施設等の理学療法を担う人材に対する研修会の開催
 - : ㉓3回 ㉔3回
- ▶ その他、リハビリテーション専門職の質の向上を図るための各種研修会等を開催

(リハビリテーション医等の養成)

- ▶ 京都府リハビリテーション教育センターによるリハビリテーションに精通したかかりつけ医や府立医科大学リハビリテーション医学教室によるリハビリテーション専門医等を養成

(先端的リハビリテーションの推進)

- ▶ 府立医科大学附属病院内に開設した「ロボットリハビリテーションセンター」において、先端的リハビリテーションロボットの臨床研究や普及を促進

〈参考値〉

- ▶ リハビリテーション専門医師の数（人口10万人当たり）
 - ㉓ 2.9人 ㉔ 3.3人
- ▶ 病院で従事するリハビリテーション専門職の数（常勤換算）（病院報告）
 - 理学療法士（PT）の数（人口10万人当たり） ㉓61.3人 ㉔66.8人
 - 作業療法士（OT）の数（人口10万人当たり） ㉓28.0人 ㉔31.2人
 - 言語聴覚士（ST）の数（人口10万人当たり） ㉓10.1人 ㉔11.2人
- ▶ 介護サービス施設・事業所で従事するリハビリテーション専門職の数（常勤換算）
 - （介護サービス施設・事業所調査）
 - 理学療法士（PT）の数（人口10万人当たり） ㉓21.5人 ㉔22.7人
 - 作業療法士（OT）の数（人口10万人当たり） ㉓11.0人 ㉔10.7人
 - 言語聴覚士（ST）の数（人口10万人当たり） ㉓ 2.0人 ㉔ 2.4人

③ 看取りの体制・環境・文化づくり

- 住み慣れた地域で、最期まで自分らしい暮らしを送ることができる社会を実現するため、看取り期に本人や家族が、変化していく状態・状況に応じ、柔軟に療養する場所や医療・介護を選択できる環境と体制の整備を進めました。
- 在宅・施設・病院における看取り支援の充実を図るとともに、看取りをサポートする専門人材の養成や、「命」について考え、死に向き合える看取り文化の醸成を進めました。

【主な取組】

- ▶ 家族等の介護者が終末期の身体の状態の変化などについて理解を深められるためのパンフレットの作成 ⑳作成 28,000部
- ▶ 「看取り支援施設ガイドブック」に基づく施設介護職員への研修受講者数 ㉑141人 ㉒79人
- ▶ 看取りに寄り添える家族宿泊室の整備 ㉑2施設 ㉒1施設
- ▶ 看護師・介護支援専門員に対する看取りの専門研修の実施 ㉑182人（看護師90人・介護支援専門員92人） ㉒166人（看護師69人・介護支援専門員97人）
- ▶ 医療用麻薬等薬剤の管理・供給体制の拡充（累計） ㉑7地域薬剤師会 ㉒20（全）地域薬剤師会
- ▶ 薬局の在宅訪問支援（累計） ㉑7地域薬剤師会 ㉒15地域薬剤師会
- ▶ 本人や家族の価値観を尊重した、受けたい医療や看取り期の過ごし方について、本人、家族と医療・介護関係者がともに話し合いながら支援できるよう、医師をはじめとする関係者が活用できる手引きの作成 ㉒作成 50,000部
- ▶ 看取り啓発マンガ冊子の作成 ㉑第2作 25,000部 ㉒第3作 27,500部

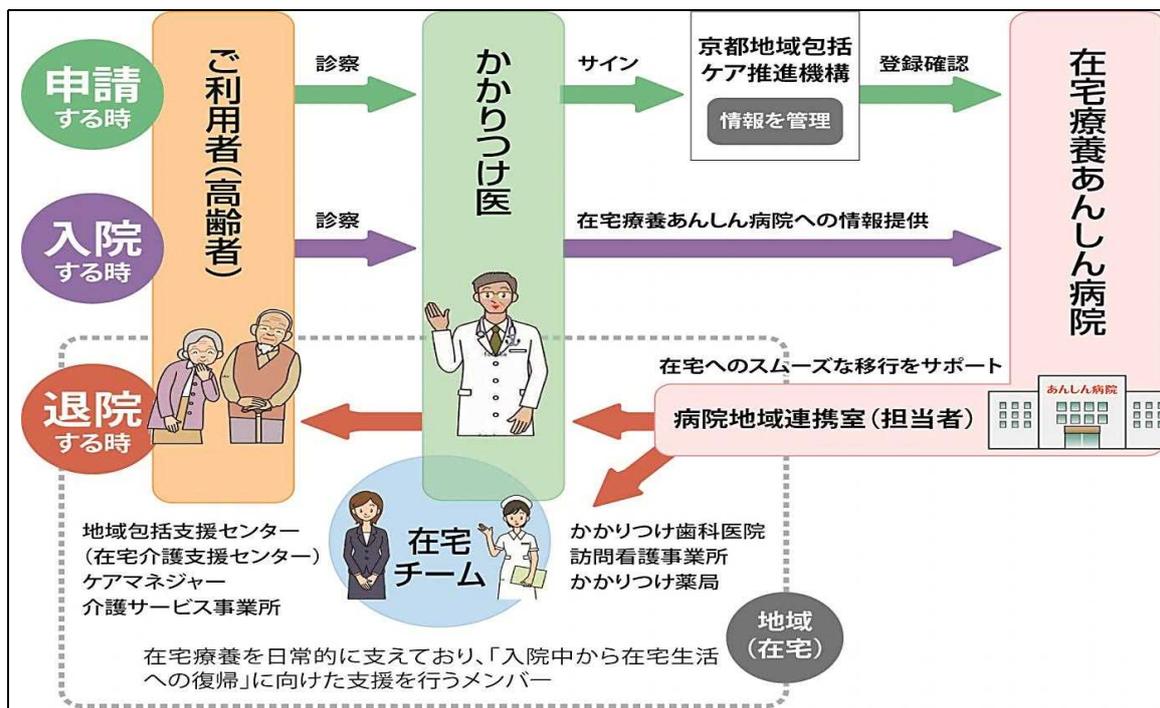
(2) 重点課題2 高齢者の在宅療養を支える医療・介護連携の一層の推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるよう、在宅療養あんしん病院登録システムの普及定着や、京都府立医科大学附属北部医療センターを核とした連携体制の構築等、医療と介護の連携を推進します。

① 在宅医療・介護連携の推進

- 高齢者が安心して在宅療養を続けることができるよう、在宅療養あんしん病院登録システムの普及促進や、多職種協働による医療・介護連携を推進するための人材養成等を進めました。(図表3-2)

【図表3-2 在宅療養あんしん病院登録システムの概要】



【主な取組】

- ▶ 「在宅療養あんしん病院登録システム」の普及促進
 - ・システムを利用する診療所数（累計） ㉗ 553 ㉘ 592
 - ・登録者数（累計） ㉗ 10,746人 ㉘ 11,772人
- ▶ 「在宅療養コーディネーター」の養成
 - ・養成数 ㉗ 130人 ㉘ 47人 (㉘累計464人)

- (3) **重点課題3** 高齢者の健やかな生活を支える介護予防・生活支援等の充実
介護予防や生活支援の充実に向けて、生活支援コーディネーターの設置や新たな担い手の育成等、地域の実情に即した市町村の取組を支援します。

① 高齢者の介護予防・健康づくりの充実と社会参加の支援

【主な取組】

(1) 介護予防の推進

① 新しい総合事業への移行に向けた市町村支援

- ▶ 高齢者の生活支援等サービスの提供体制整備を推進するため、資源開発やネットワーク構築を行う生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を養成
 - ・生活支援コーディネーター養成研修 ②⑦ 2回、145人 ②⑧ 2回、107人
 - ・生活支援コーディネーターステップアップ研修 ②⑧ 2回、57人
- ▶ 生活支援コーディネーターやサービス提供者など多様な主体が参画し、ニーズの把握や企画・立案、情報交換を行う「協議体」の設置を支援するため、研修会を開催 ②⑦ 2回、268人 ②⑧ 1回、197人
- ▶ 基幹型・機能強化型地域包括支援センター設置を支援
 - ・支援数 ②⑦ 5市町村 ②⑧ 1市町村
 - ・設置数 ②⑦ 1センター ②⑧ 4センター

② 効果的な介護予防事業の推進

- ▶ 平成25年度に亀岡市、京都府立医科大学、京都学園大学、京都府歯科衛生士会、京都府栄養士会及び京都地域包括ケア推進機構等の協働により開発した「京都式介護予防総合プログラム」について、市町村総合交付金による支援を行い普及を促進
 - ・取組市町村数（累計） ②⑦ 7市町村 ②⑧ 10市町村
 - ・指導者(サポーター)の養成（累計） ②⑦ 355人 ②⑧ 809人

③ 介護予防事業への参加促進

- ▶ 京都式介護予防総合プログラムの参加者数 ②⑦ 1,874人 ②⑧ 1,868人

(2) 健康づくりの推進

① 健康づくり対策

◇ 健康づくりの推進

○ 健康寿命延伸のための健康づくりの推進

- ▶ きょうと健康長寿・未病改善センターを設置し、健康医療情報を経年的に集約し、市町村等へ情報提供し、課題に応じたエビデンスに基づく効果的な健康予防事業を実施できるよう市町村を支援
 - ・専門家派遣回数 ②⑦ 10回 ②⑧ 18回

- ▶ 職域や医療保険者と連携して、健診受診や健康づくりの関心を高めるためのセミナーや認証を実施
 - ・セミナー開催回数 ㉗ 1回 ㉘ 2回

② がん検診の効果的・効率的な推進

- ▶ がん征圧全国大会の京都開催と連動し、cancer month kyotoの開催など、がん検診啓発キャンペーンを拡大実施
- ▶ 利便性の高いコンビニエンスストアにおいてモデル的ながん検診を実施
 - ・モデル市町村数 ㉘ 2市町村 (㉘新規)
- ▶ 肺がん検診のデジタル化の推進のため、市町村の検診体制や読影体制の環境整備を推進
 - ・肺がん検診デジタル化移行市町村数 ㉘ 7市町村 (㉘新規)
- ▶ 乳がん検診を居住地以外の市町村でも受診できるよう、医療関係団体と連携して管外受診制度を導入
 - ・乳がん検診管外受診制度導入市町村数 ㉘ 3市町村 (㉘新規)

③ 歯と口の健康づくり

◇ 介護老人福祉施設等への歯科医師等の派遣

- ▶ 障害（児）者及び要介護者の歯科疾患等を予防し、生活の質を向上させるため、障害者支援施設及び介護老人福祉施設等に歯科医師や歯科衛生士を派遣して歯科健診・口腔ケアを実施
 - ・実施施設数 ㉗ 38施設 ㉘ 38施設

④ 国民健康保険をはじめとする各保険者の保健事業

- ▶ 医療・介護・健診データを活用し、被保険者一人ひとりの心身の特性に応じた保健事業を推進
 - ・データ活用市町村数 ㉘ 26市町村

(3) 高齢者の積極的な社会参加の促進

① 高齢者の社会貢献活動や地域活動等の支援

- ▶ 元気な高齢者が社会の支え手となれるよう、京都SKYセンターにおいて研修会を開催するとともに、活躍出来る場とのマッチングを推進
 - ・スキルアップセミナー参加者 ㉗ 297人 ㉘ 410人
 - ・担い手と地域活動のマッチング ㉗ 98人 ㉘ 268人
- ▶ 京都SKYシニア大学の開催 ㉗ 557人修了 ㉘ 643人受講
- ▶ 公益財団法人京都SKYセンターへの助成 ㉗ 51,932千円 ㉘ 52,633千円
- ▶ 京都SKYフェスティバルへの助成 ㉗ 23,000千円 ㉘ 23,000千円

② 高齢者の生涯学習やスポーツ活動の推進

◇ 全国健康福祉祭（ねんりんピック）への参加

- ▶ 予選会への参加 ㉗ 1,053人 ㉘ 1,185人
- ▶ 本大会への派遣 ㉗ 167人 ㉘ 150人

③ 老人クラブ活動への支援

- ▶ 市町村老人クラブに対する助成 ②⑦55,273千円 ②⑧55,542千円
- ▶ 京都府老人クラブ連合会に対する助成 ②⑦14,609千円 ②⑧15,109千円
- ▶ 府内老人クラブ数 ②⑦1,234クラブ ②⑧1,207クラブ
- ▶ 功労者知事表彰 ②⑦12人 ②⑧14人
- ▶ 優良老人クラブ知事表彰 ②⑦2団体 ②⑧3団体

② 高齢者の安心・安全な日常生活を支える活動等の推進

【主な取組】

(1) 高齢者を地域で見守り、生活を支援する活動の推進

◇ 「絆ネット」の構築や生活支援サービスの充実

- ▶ 地域の高齢者、障害者、児童等の見守り・生活支援を進めるため、地域の活動団体・社協及び行政が連携したネットワーク「絆ネット」の構築を推進
 - ・構築市町村数 ②⑦10市町 ②⑧12市町村
- ▶ 地域支援事業の実施に際し、生活支援等のサービスが途切れなく行われるよう、サポート団体立ち上げやサービス利用者への支援を実施
 - ・利用料減免に対する助成等 ②⑦10団体 2,160千円
 - ②⑧ 9団体 3,280千円

(2) 高齢者を地域全体で支えるための条件整備

◇ 高齢者のための防災対策

- ▶ 市町村における避難行動要支援者名簿の作成や福祉避難所の整備、福祉避難コーナー設置ガイドライン、災害時要配慮者避難支援ガイドブックの作成・配付、市町村が進める在宅要配慮者個別避難計画の作成等への支援を実施
- ▶ 避難生活での二次的被害を防ぐ災害派遣福祉チーム（DWA T）の養成・訓練の実施
 - ・養成者数 ②⑦110名 ②⑧123名
- ▶ DWA Tと協力して福祉的な支援を実施する「福祉避難サポートリーダー」の養成
 - ・養成者数 ②⑦244名 ②⑧257名
- ▶ 防災訓練や講演会の開催等により、府民の防災意識の向上と取組の推進

(3) 高齢者虐待及び権利擁護

◇ 身体拘束ゼロへの取組

- ▶ 身体拘束廃止事業の進捗状況把握と身体拘束ゼロ推進に向けた意識の高揚を図ることを目的に、介護保険施設等における身体拘束状況調査の実施
 - ②⑧ 717施設を対象に調査を行い、平成27年度中に身体拘束を実施していた施設は、有効回収525施設中、106施設

- ⑳ 697施設を対象に調査を行い、平成26年度中に身体拘束を実施していた施設は、有効回収510施設中、123施設

(4) **重点課題4** 高齢者が安心して暮らせる住まい（施設・住宅）の整備

新たに京都府高齢者居住安定確保計画を策定し、計画的な介護保険施設の整備やサービス付き高齢者住宅の独自登録基準の設定等により、高齢者が安心して暮らせる住まいの整備を図ります。

① 高齢者が安心して暮らせる住まい（施設・住宅）の整備

- 介護老人福祉施設などの介護保険施設だけではなく、生活支援サービスと必要な介護保険サービスを組み合わせ生活する有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など、多様な住まいの確保を図っています。

【主な取組】（年度末日の竣工床数。京都市を含む。）

- ▶ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）※竣工数
⑳ 298床 ㉑ 249床（㉒累計12,209床）
- ▶ 介護老人保健施設 ※竣工数
⑳ 220床 ㉑ 105床（㉒累計7,523床）
- ▶ サービス付き高齢者向け住宅（登録戸数）
⑳ 16棟、600戸 ㉑ 20棟、761戸（㉒累計124棟、4,554戸）

- 高齢者が安心・安全・快適に暮らすことのできるサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームが供給されるよう、京都府独自の登録基準の設定や設置運営基準指針の改定・充実、情報提供の促進などを進めました。

【主な取組】

- ▶ 府独自登録基準の設定（サービス付き高齢者向け住宅）
 - ・緊急通報装置の設置
 - ・人権擁護・虐待の防止
 - ・立地市町村への事前手続き
- ▶ ガイドライン（設置運営基準指針）の策定
 - ・有料老人ホームの設置運営基準指針をサービス付き高齢者向け住宅へも適用
 - ・府独自の基準を追加（駐車場の確保、AED設置の努力）
- ▶ 情報提供の推進
 - ・登録情報の提供に加え、情報開示一覧表や重要事項説明書を公開（京都市に立地するホーム・住宅を除く）
 - ・サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムで「運営情報」を公開（事業者任意）

▶ 立入検査の実施

- ・京都府は平成28年10月から実施（京都市内は従前から実施）
平成28年度実施 サービス付き高齢者向け住宅15施設
有料老人ホーム9施設

（5）重点課題5 地域包括ケアを支える人材の確保・定着・育成

平成27～29年度の3年間で、新たに介護・福祉人材7,000人の確保を目標に定め、人材の育成と定着も含めた総合的な取組を展開するとともに、地域包括ケアを支える多職種の連携と資質の向上を推進します。

① 地域包括ケアを支える人材の確保・定着・育成

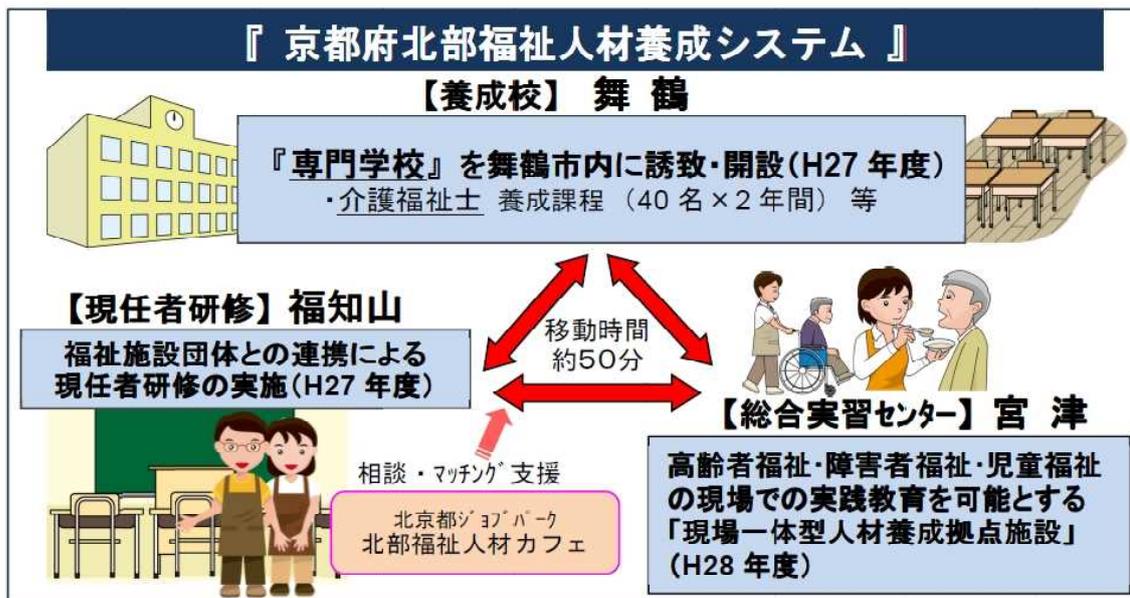
【主な取組】

（1）介護・福祉人材の確保・定着・育成

	H27年度	H28年度
確保目標	2,400人	2,250人
うち北部地域	350人	350人
実績	2,384人	2,408人
うち北部地域	350人	362人
達成率	99%	102%
うち北部地域	100%	103%

- ▶ 京都ジョブパーク内に「福祉人材カフェ」を設置、福祉人材基礎力養成科を開講
- ▶ 福祉職場就職フェアの開催
 - ・就職フェア内定者数 ㉗210人 ㉘171人
- ▶ 福祉人材育成認証システムの推進（㉕～）
 - ・福祉業界を正しく理解できる情報を発信し、新規学卒者をはじめとする若年者の福祉業界への就職・定着の促進を図るため、人材育成に積極的に取り組む福祉事業所を京都府が認証し、学生等に公表。
 - ㉗ 認証事業者 66
 - ㉘ 認証事業者 48 上位認証 5
- ▶ 北部福祉人材養成システムの推進（㉕～）
 - ・府北部地域における福祉人材の養成・確保や就職支援等の共通課題について、関係する行政、福祉、職能団体等による「京都府北部福祉人材確保・定着戦略会議」を立ち上げ、府北部地域の安定的な福祉人材確保・養成・定着を推進（図表3-3）

【図表3-3 京都府北部福祉人材養成システムの概要】



- ① 「養成校（専門学校）」の誘致・開設（舞鶴市内）
介護福祉士課程を有する民間の養成校（専門学校）を舞鶴市内に誘致。
・平成27年4月11日 舞鶴YMC A国際福祉専門学校 開校
- ② 「総合実習センター」の整備・開設（宮津市内）
高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉の現場で対応できる実習を行う施設を宮津市内の社会福祉施設内に整備。
・平成29年9月1日 宮津総合実習センター 開設
- ③ 「現任者研修」の実施（福知山市内）
地域の民間施設連絡協議会と連携し、平成27年度から、社会福祉法人等に従事する現任者が介護福祉士の受験資格を得るために必要な研修を福知山市内で実施。
・平成27年5月26日（一社）福知山民間社会福祉施設連絡協議会による研修開講

（2）医師・看護師等の確保対策

〈医師確保対策〉

- ▶ 「京都府地域医療支援センター（KMCC）」により、府内の大学、病院、医療関係団体と連携し、医師のキャリア形成支援や医師確保を実施
・京都式キャリアパスを通じた医師確保 <KMCCキャリアパス参加者数>
 - ・救急科コース ⑳ 8名 ㉑ 11名
 - ・総合内科・総合診療科コース ㉒ 4名 ㉓ 2名
- ・出産や育児等により仕事と家庭の両立が困難な女性医師等の離職防止や再就業の促進を図るため、短時間勤務や宿日直免除など働きやすい勤務環境の整備を支援 ㉔ 15医療機関 ㉕ 16医療機関
- ▶ 「京都府勤務環境改善支援センター」を平成27年1月に設置し、勤務環境の改善に関する情報の提供や相談及び助言等を行うとともに、各医療機関が計画的に行う勤務環境改善に向けた取組に対する支援を実施
・医療機関を訪問し、勤務環境改善に対して助言 ㉖ 20病院 ㉗ 25病院

第3章

- ・医療機関向け相談 ㉗15件 ㉘27件
- ▶ 在宅医療を専門に行う医療機関とかかりつけ医等、複数の医師又は多職種で在宅医療を進められるようオール京都体制でチーム医療を推進
 - ・京都在宅医療塾Ⅱの受講者数 ㉗111人 ㉘152人

〈看護師等確保対策〉

- ▶ 京都府ナースセンター及び京都私立病院協会等と連携し、就業相談、再就業支援等を実施
 - ・再就業者数 ㉗713人 ㉘756人
- ▶ 平成27年度より京都大学医学部附属病院看護職キャリアパス支援センター設置を支援し、府北部地域を中心に看護師等の確保定着を推進。
 - ・看護師等交流数 ㉗5人 ㉘9人
- ▶ 看護師等確保が困難な府北部地域の就業を促進するため、看護師等修学資金（北部特別枠）の創設や南部看護学生の北部地域の病院等へ実習誘導策を実施。
 - ・南部学生の北部地域実習生 ㉗243人 ㉘237人

〈歯科医師、歯科衛生士確保対策〉

- ▶ 地域医療介護総合確保基金を活用し、歯科医師会が実施する歯科衛生士に係る復職支援事業への支援を実施。
 - ・歯科衛生士再就職研修会（㉘～開始） ㉘3回84人参加

(3) リハビリテーション専門医等の確保対策

- ◇ 京都府リハビリテーション教育センターによるリハビリテーションに精通したかかりつけ医や府立医科大学リハビリテーション医学教室によるリハビリテーション専門医等を養成
- ▶ リハビリテーション専門医師の数（人口10万人当たり）
㉗2.9人 ㉘3.3人 【再掲】
- ▶ 病院で従事するリハビリテーション専門職の数（常勤換算）（病院報告）【再掲】
 - 理学療法士（PT）の数（人口10万人当たり） ㉗61.3人 ㉘66.8人
 - 作業療法士（OT）の数（人口10万人当たり） ㉗28.0人 ㉘31.2人
 - 言語聴覚士（ST）の数（人口10万人当たり） ㉗10.1人 ㉘11.2人
- ▶ 介護サービス施設・事業所で従事するリハビリテーション専門職の数（常勤換算）【再掲】
（介護サービス施設・事業所調査）
 - 理学療法士（PT）の数（人口10万人当たり） ㉗21.5人 ㉘22.7人
 - 作業療法士（OT）の数（人口10万人当たり） ㉗11.0人 ㉘10.7人
 - 言語聴覚士（ST）の数（人口10万人当たり） ㉗2.0人 ㉘2.4人

(4) 介護支援専門員の養成と資質向上

- ◇ 平成28年度から介護支援専門員更新研修等のプログラムが大きく拡充されたことを受け、介護支援専門員会等と連携し、効果的な研修カリキュラムを構築するとともに、実務研修に追加された見学実習の受入事業所の確保を推進
 - ・介護支援専門員養成数 ㉗522人 ㉘395人

- ・介護支援専門員更新研修（課程Ⅱ）受講者数 ㉗ 9 2 9 人 ㉘ 5 0 1 人
- ・実習受入事業所数 ㉘ 3 3 9 事業所（㉘新規）

3 サービス利用者の意識（アンケート調査）

□ 京都府内の要介護認定を受けた在宅の高齢者を対象に、平成28年度に実施した「介護保険サービス利用者アンケート調査」の主な結果は、以下のとおりです。

- ・ 調査期間 平成29年2月～3月
- ・ 調査対象 府内10市7町1村の要介護認定を受けた在宅高齢者 5,000人
- ・ 調査方法 郵送による配布・回収
- ・ 回答者数 2,009人

（1）介護保険サービスに対する満足度等

概要

- ▶ 要介護認定やサービスに対する満足度は、概ね高い状況
- ▶ 介護保険制度における負担のあり方については、所得に応じた負担を望む割合が高い

【要介護認定に対する満足度】

「満足している」「やや満足している」が全体の7割以上を占めています。

	H22	H25	H28
満足している	35.8%	39.5%	34.7%
やや満足している	36.5%	37.8%	40.1%
やや不満である	15.4%	12.4%	14.3%
不満である	4.7%	3.4%	2.9%
無回答	7.5%	6.8%	8.0%

【ケアプランへの本人・家族の意向の反映度】

「反映されている」は8割強であり「反映されていない」は1割となっています。

	H22	H25	H28
十分反映されている	28.0%	29.9%	25.1%
ある程度反映されている	57.1%	61.3%	57.3%
あまり反映されていない	5.3%	4.8%	6.1%
反映されていない	0.9%	0.9%	1.0%
無回答	8.8%	3.1%	10.6%

【現在利用している介護サービスに対する満足度】

「満足」「ほぼ満足」は全体の8割強であり、満足度は高い状況となっています。

	H22	H25	H28
満足	25.3%	24.2%	21.4%
ほぼ満足	59.8%	61.9%	59.7%
やや不満	8.8%	10.0%	10.8%
不満	2.7%	1.6%	2.2%
無回答	3.4%	2.2%	5.9%

【保険料の負担感】

「普通」が最も多いが、「大きい」「やや大きい」がそれぞれ約3割となっています。

	H22	H25	H28
大きい	30.8%	30.1%	31.2%
やや大きい	27.5%	30.9%	29.9%
普通	37.1%	35.2%	35.7%
やや小さい	0.5%	0.4%	0.4%
小さい	1.1%	0.9%	1.0%
無回答	2.9%	2.5%	1.8%

【利用料の負担感】

「普通」が最も多く、約5割となっています。

	H22	H25	H28	
			1割負担	2割負担
大きい	12.2%	11.9%	10.5%	30.3%
やや大きい	22.3%	23.3%	21.4%	41.0%
普通	48.1%	47.6%	57.6%	20.3%
やや小さい	1.4%	1.2%	1.7%	2.3%
小さい	1.2%	0.8%	1.4%	0.8%
サービスを利用していない	8.4%	7.6%	2.1%	1.1%
無回答	6.4%	7.7%	5.4%	4.2%

【給付と負担のバランスについて】

「充実した介護サービスが受けられるなら、保険料が上がるのはやむを得ない」が約4割と最も多く、次いで「介護サービスを抑制することで、保険料が上がらないようにすべき」が約3割となっています。

	H22	H25	H28
充実した介護サービスが受けられるなら、保険料が上がることはやむを得ない	37.0%	37.1%	38.1%
介護サービスを抑制することで、保険料が上がらないようにすべき	26.9%	28.0%	28.9%
わからない	23.3%	21.1%	22.0%
その他	9.3%	8.1%	6.8%
無回答	3.6%	5.7%	4.3%

第3章

【介護保険制度における負担のあり方について】

「所得の高い利用者の負担割合を上げる」が約6割で最も多くなっています。

		H22	H25	H28
保険料を上げる		9.8%	6.1%	4.2%
利用料の自己負担 割合を上げる	所得の高い利用者の負担割合を上げる	20.2%	60.3%	61.7%
	全ての利用者の負担割合を上げる		13.3%	12.6%
公費（税金）の負担割合を上げる		49.2%	29.1%	26.4%
被保険者の範囲を40歳未満に広げる		15.9%	10.1%	9.9%
その他		9.1%	4.3%	5.1%
無回答		14.0%	9.7%	8.5%

(2) 今後の生活場所、在宅サービスや家族支援に対するニーズ

概要

- ▶ 今後の生活場所については、7割以上が「自宅で生活したい」と回答
- ▶ 住み慣れた自宅や地域で生活するため、家族介護者への支援や地域密着型サービスの充実、介護予防の充実、医療・介護の連携等を望む回答が多い

【今後、どこで生活していきたいか】

「自宅で生活したい」が7割強で最も多くなっています。

	H22	H25	H28
自宅で生活したい	72.0%	72.8%	71.1%
ケアハウスや高齢者専用住宅などで生活したい	7.5%	6.7%	9.7%
特別養護老人ホームなどの施設で生活したい	16.7%	14.4%	15.0%
無回答	3.8%	6.2%	4.2%

【自宅での生活を希望する理由】

「住み慣れた自宅で生活したいから」が7割強を占めています。

	H22	H25	H28
自宅で十分な介護を受けることができるから	14.0%	11.8%	11.7%
住み慣れた自宅で生活したいから	77.2%	73.5%	74.3%
施設で他人と共同生活をしたくないから	5.9%	7.3%	6.6%
その他	2.2%	3.5%	2.7%
無回答	0.7%	4.0%	4.7%

【施設を選択する理由】

「家族に迷惑、介護の負担をかけたくないから」が3割強と最も多くなっています。

	H22	H25	H28
常に見守りがあり、安心して生活できるから	44.1%	39.4%	30.8%
建物に段差がなく、移動が楽にできるから	1.5%	1.3%	1.3%
今後の身体状況を考えると在宅サービスだけでは不安だから	24.1%	20.2%	22.5%
家族に迷惑、介護の負担をかけたくないから	25.6%	28.6%	32.5%
その他	3.0%	4.7%	3.3%
無回答	1.8%	5.7%	9.6%

第3章

【在宅サービスの充実のために必要と思われること】

「家族介護者への支援を行うこと」、「介護保険の在宅サービスの利用料を軽減すること」、「24時間対応や地域の身近な場所で受けられる介護サービスを充実すること」が上位となっています。（複数選択）

	H22	H25	H28
介護保険の在宅サービスの利用料を軽減すること	31.0%	39.2%	28.9%
家族介護者への支援を行うこと	41.3%	38.9%	31.4%
ボランティアなど地域住民全体で支える体制をつくること	17.9%	11.7%	10.1%
介護が必要とならないよう、健康づくりや介護予防を充実すること	—	26.3%	24.3%
在宅医療、介護体制を充実させ相互の連携を深めること	37.2%	24.2%	21.1%
介護度が重くなっても自宅で生活できる社会環境を整備すること	39.2%	27.4%	22.5%
24時間対応や地域の身近な場所で受けられる介護サービスを充実すること	—	30.9%	26.2%
デイケアや訪問リハビリテーションを充実すること	—	19.2%	16.4%
歯と口の健康のためのケア（口腔ケア）を充実すること	—	7.8%	5.9%
バリアフリー住宅など、高齢者住宅を充実させること	14.1%	—	—
サービス付き高齢者向け住宅等の整備の促進	—	10.0%	8.5%
高齢者向け住宅に係る情報提供、相談窓口の設置	—	5.4%	5.3%
安心して在宅生活を送れるよう見守りを充実させること	33.1%	23.9%	20.1%
その他	2.3%	1.8%	1.4%
無回答	14.0%	6.5%	13.2%

【家族介護者の支援のために必要なこと】

「ショートステイの充実」が4割強で最も多くなっています。（複数選択）

	H22	H25	H28
介護サービスの充実	30.3%	35.5%	31.7%
介護のための技術の習得	8.2%	9.8%	7.1%
介護者の休息機会の確保	19.2%	17.6%	14.7%
保健師等の専門家による定期的な家庭訪問	16.4%	15.8%	12.1%
家族の介護行為に対する適正な評価（表彰等）	1.5%	1.3%	1.4%
家族が病気などの緊急時に利用できるショートステイの充実	43.6%	43.1%	40.2%
家族が病気などの緊急時に利用できるヘルパー制度	29.3%	26.6%	26.0%
家族会など同じ境遇の方々と情報交換などができる交流の場	5.2%	5.5%	3.3%
働きやすい職場環境の整備など、仕事と介護の両立支援	—	9.3%	9.9%
経済的支援のための現金給付	16.8%	13.5%	13.3%
困ったときに相談できる窓口の拡充	24.0%	23.9%	20.6%
介護のための住宅改修	8.0%	7.9%	5.1%
その他	1.6%	1.5%	1.5%
無回答	24.8%	22.0%	28.6%

(3) 介護予防や日常生活の支援について

概要

- ▶ 介護予防や悪化防止のための取り組みについては、健康体操等への参加、リハビリテーションの利用、食事の栄養管理等のニーズが高い
- ▶ 日常生活の支援については、見守りや移動の支援、洗濯・掃除、話し相手や買い物支援等のニーズが高い

【介護予防や悪化防止のための取り組み】

現在取り組んでいることについては、「身の回りのことなどできることは自分でやる」が約6割で最も多く、今後やってみたいことについては、「軽い運動やストレッチ、健康体操」、「食事メニューなどに気をつける」が上位となっています。（複数選択）

取り組んでいること	H25	H28
身の回りのことなどできることは自分でやるようにする	69.0%	58.0%
軽い運動やストレッチ、健康体操など	37.9%	33.2%
趣味のサークルや文化教室などの集いの場への参加	9.1%	7.0%
ボランティアや地域活動などの社会貢献活動への参加	1.9%	1.9%
食事メニューなどに気をつける	31.7%	25.6%
ゴミだしや洗濯、配食などの生活支援サービスの利用	7.0%	5.4%
デイケア（通所リハビリテーション）や訪問リハビリテーションの利用	36.6%	33.3%
手すりの取付や段差の解消など、住まいのバリアフリー化	25.6%	23.5%
その他	2.2%	7.1%
無回答	10.1%	20.2%

今後やってみたいこと	H25	H28
身の回りのことなどできることは自分でやるようにする	25.3%	11.8%
軽い運動やストレッチ、健康体操など	25.4%	19.8%
趣味のサークルや文化教室などの集いの場への参加	13.8%	12.3%
ボランティアや地域活動などの社会貢献活動への参加	4.6%	3.4%
食事メニューなどに気をつける	16.3%	12.4%
ゴミだしや洗濯、配食などの生活支援サービスの利用	8.4%	7.5%
デイケア（通所リハビリテーション）や訪問リハビリテーションの利用	19.2%	11.3%
手すりの取付や段差の解消など、住まいのバリアフリー化	16.6%	9.4%
その他	2.1%	7.3%
無回答	34.2%	48.8%

第3章

【日常的に受けたいと思う生活支援】

「日常の声かけ・見守り」が約3割と最も高く、次いで「移動の支援」、「洗濯、家の中の掃除など」、「話し相手」、などが上位となっています。（複数選択）

	H25	H28
日常の声かけ・見守り	38.2%	30.8%
洗濯、家の中の掃除など	29.3%	27.0%
ゴミ出し、庭掃除など	16.7%	19.8%
食事（調理）の支援	20.9%	21.3%
買い物支援	21.8%	24.3%
話し相手	29.3%	26.5%
移動の支援（主として交通手段に関する事）	24.6%	29.4%
外出の付き添いや介助（主として外出先での身体的介助に関する事）	21.2%	20.6%
病院や公共施設での案内（病院や公共施設での付き添いや介助を含む）	21.9%	22.6%
役所に提出する書類作成の手助け	20.5%	22.0%
配食などのサービス提供	14.3%	14.7%
レクリエーション活動	7.8%	8.9%
その他	4.9%	4.9%
受けたくない	3.4%	3.1%
無回答	15.6%	15.1%

(4) 京都式地域包括ケアシステムの推進について

概要

- ▶ 地域包括ケアについての認知度は高まってきたが、「在宅療養あんしん病院登録システム」の認知度は4割にとどまっている
- ▶ 認知症対策については、身近なかかりつけ医での対応や相談窓口の設置、認知症に対する正しい理解の普及等を望む回答が多い
- ▶ リハビリについては、回答者の約5割が利用したことがあり、多くの方が「体の動きがよくなった」「元気になった」等、効果があったと回答
- ▶ 看取りの希望については、約5割の方が家族と話しあったことがあり、事前の書面作成についても賛成してるが、実際に書面を作成している方は少ない

【地域包括ケアに関する認知度】

「地域包括ケアシステム」の認知度（「知っている」＋「聞いたことがある」）は、6割を超えています。

「地域包括支援センター」については、回答者の5割弱が利用されており、認知度は8割強となっています。

「在宅療養あんしん病院登録システム」の認知度は4割弱となっており、引き続き、制度の普及・定着を図っていく必要があります。

「知っている」＋「聞いたことがある」の割合	H25	H28
地域包括ケアシステム	62.1%	67.8%
地域包括支援センター	76.0%	81.5%
在宅療養あんしん病院登録システム	35.7%	38.6%

【※上記「知っている」の内数】

- ・ 地域包括支援センターを利用している、利用したことがある 47.5%
- ・ 在宅療養あんしん病院登録システムに登録している、登録したいと思っている 7.9%

【かかりつけの医師等の有無】

医師については約9割、歯科医師については約6割、薬局については約7割の方が、「いる（ある）」と回答しています。

「いる（ある）」の割合	H25	H28
かかりつけの医師	89.4%	92.5%
かかりつけの歯科医師	51.3%	57.3%
かかりつけの薬局	59.2%	71.5%

【認知症について知っているか】

8割強の方が「どのような病気か、知っている」と回答しています。

	H25	H28
どのような病気か、詳しく知っている	18.4%	20.5%
どのような病気か、ある程度は知っている	63.5%	64.5%
名前だけは聞いたことがある	10.1%	10.1%
まったく知らない	1.7%	1.0%
無回答	6.3%	3.9%

【地域や身の回りで、認知症について正しく理解されているか】

約5割の方が「理解されている」と回答する一方で、約2割の方が「理解されていない」と回答しています。

	H25	H28
理解されている	9.8%	11.2%
どちらかといえば理解されている	37.2%	40.9%
どちらかといえば理解されていない	18.7%	18.8%
理解されていない	4.5%	3.8%
分からない	21.1%	19.8%
無回答	8.8%	5.4%

【認知症の早期発見や対応について必要なこと】

「身近なかかりつけ医で早期の対応ができること」、「困ったときに相談できる窓口が身近にあること」、「認知症についての正しい理解を広めること」が上位となっています。
(複数選択)

	H22	H25	H28
認知症についての正しい理解を広めること	—	37.8%	34.1%
困ったときに相談できる窓口が身近にあること	54.8%	45.8%	44.5%
オレンジカフェやいきいきサロンなどの集いの場が身近にあること	—	6.8%	5.5%
身近なかかりつけ医で早期の対応ができること	46.3%	53.3%	52.9%
自宅で適切な介護や看護サービスが受けられること	44.3%	27.8%	29.4%
保健師や民生委員などにより頻繁な訪問活動が行われること	13.6%	6.3%	5.8%
地域での見守り体制が整備されること	14.6%	8.3%	8.9%
ボランティア活動を活発化すること	3.8%	1.4%	1.4%
適切な対応方法などについて、家族向けの勉強会や研修の場があること	25.1%	9.5%	7.9%
介護者がリフレッシュできる機会を確保すること	22.5%	17.0%	17.0%
成年後見制度などが簡単に利用できること	6.2%	3.5%	3.2%
福祉サービスの利用手続きや金銭管理等の日常生活の支援 (日常生活自立支援事業)	—	7.8%	6.7%
その他	1.8%	0.7%	1.4%
無回答	11.9%	12.9%	12.0%

【リハビリテーションの利用の有無】

回答者の5割強が「利用している、または利用したことがある」と回答しています。

	H25	H28
デイケアを利用している、または利用したことがある	42.2%	43.8%
訪問リハビリテーションを利用している、または利用したことがある	13.3%	12.1%
リハビリテーションを利用したことはない	35.5%	28.8%
無回答	10.5%	15.3%

【リハビリテーションの利用の効果】

「体の動きが良くなった」、「不安が減ったり、元気になったと思う」、「生活環境や福祉用具に関する助言が役に立った」が上位となっており、多くの方が「効果があった」と回答しています。（複数選択）

	H25	H28
体の動きが良くなった	35.9%	38.9%
寝返り・起き上がり・立ち上がりが楽になった	16.8%	14.8%
不安が減ったり、元気になったと思う	29.7%	33.3%
生活環境や福祉用具に関する助言が役に立った	19.4%	22.3%
食事やトイレ、入浴など日常生活動作が楽になった	21.8%	15.0%
日常の行動範囲や外出機会が増えた	14.3%	15.1%
趣味や生きがいなど大切な活動の役に立っている	9.8%	12.4%
リハビリテーションを受けて間もないため、まだ効果はでていない	7.2%	8.6%
わからない	12.5%	12.5%
その他	6.5%	9.3%
無回答	8.7%	6.4%

【将来に備えての家族との話しあい（看取りについて）】

「将来に備えて、受けたい医療や大切なことなどについて家族と話しあったことがあるか」については、回答者の約5割が「話しあっている」と回答しています。

	H25	H28
詳しく話しあっている	5.0%	5.1%
一応話しあっている	43.7%	46.5%
全く話しあったことがない	38.5%	38.3%
その他	2.1%	2.9%
無回答	10.8%	7.2%

【受けたい治療などに関する書面の事前作成について】

5割強が「賛成である」と回答する一方で、4割弱が「わからない」と回答しています。また、「賛成である」と回答した方のうち、実際に書面を作成しているのは、1割強となっています。

（書面の事前作成について、どう思うか）

	H25	H28
賛成	50.8%	55.7%
反対	1.1%	1.4%
わからない	38.7%	37.0%
無回答	9.4%	5.8%

（内訳）

（実際に書面を作成しているか）

	H25	H28
作成している	10.7%	15.1%
作成していない	84.0%	83.6%
無回答	5.3%	1.3%

